

協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.117



7月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2018年7月2日

インバウンド対策が、進み始めた。

副会長 兼平 慎

環境省では「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、国立公園満喫プロジェクトを推進しています。阿寒摩周国立公園、十和田八幡平国立公園、日光国立公園、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、慶良間諸島国立公園の8か所の国立公園で「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、2020年を目標にインバウンド対応の取組を計画的・集中的に実施し、日本の国立公園を世界の旅行者が長期滞在したいと憧れる旅行目的地にします。政府全体で、2020年の訪日外国人旅行者を4,000万人とする「明日の日本を支える観光ビジョン」の施策に取り組んでいます。この観光ビジョンの10の施策のひとつとして、国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化を目指し、まずは8か所の国立公園で、「国立ステップアッププログラム2020」を策定し、訪日外国人をひきつける取組を計画的、集中的に実施します。
(環境省ホームページより引用)

このような取組は、国際観光施設協会にとっても、新しい分野でのプロジェクト・仕事起こしがされていきます。地方創生が、叫ばれているなか、外客が日本の隅々の魅力を感じ取っていただくためには、世界基準の観光のおもてなしが不可欠になってきます。我々自身で様々な地方に訪問して、感じとった思いを共有することが大切になってくるのです。

7月号の銀河では、涌井副会長から温泉ガストロノミーの紹介をしていただきました。そして、紅葉から

は、国立公園満喫プロジェクトの連載を展開してまいります。広報委員会では、国立公園ではなく、満喫研究会を立ち上げました。第1回は「弘前満喫研究会」を開催し、約10名の参加で弘前を堪能する活動を行いました。弘前公園の桜、前川國男の世界、弘前の食、観光名所、そして弘前市と観光物産についての意見交換会などを行い、その内容を寄稿いたしました。この満喫研究会は、非計画的に開催し、皆さんが、いま求めていることを題材に計画を立てていきます。ホームページなどで計画を発表していきますので、興味のある方は、是非参加をお待ちしております。その際には、参加者それぞれに寄稿していただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

統合型IR法案が通過しました。私自身10年以上関わって来ました。毎年今年こそはという思いから、何度も高い壁がありました。同法案は2016年に議員立法で成立したIR推進法に基づき、カジノ解禁に伴う法規制を定めました。日本人や国内在住外国人から徴収するカジノの入場料を1回6,000円とするほか、入場回数を「週3回、月10回」に制限。カジノを開業できる業者は免許制とし、IRを整備できる区域は最大3カ所としている。5,000億から1兆円とも云われるプロジェクトは、完成が2027年頃と予測され、まだまだ先の事のように感じますが、その準備などを考えると、あっという間に完成となると思います。2030年インバウンド6,000万人を目指している日本の目玉になる事と信じています。

平成30年度の通常総会と関連行事 報告

去る6月13日、ホテルグランドパレスにて、平成30年度通常総会が開かれました。総会議案については滞りなく承認され、一部役員辞任に伴う役員選任では、新任理事として大草、藤野の2名が選任されました。総会に先立ち観光庁より黒須参事官にご挨拶をいただきました。

議案

- | | |
|---------------|-------|
| ・平成29年度事業報告 | 兼平副会長 |
| ・平成29年度収支決算報告 | 花又副会長 |
| ・平成30年度事業計画 | 涌井副会長 |
| ・平成30年度収支計画 | 花又副会長 |
| ・役員の一部選任 | |

永年功労者表彰6名(敬称略)

≪役員・委員・幹事永年表彰≫

佐野桃子、鈴木泰治、田丸敬三、
関根 武、高橋尚史、河野友和

セミナーでは192名の参加があり盛大に行われました。

情報交歓会では観光庁ほか観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り次の方々にご祝辞をいただきました(参加者211名) 観光庁 審議官 萩川直也氏 日本旅館協会会長 針谷 了氏

総会関連行事セミナー 報告

6月13日の定例総会に続き、同じ会場で、午後4時から、今年3月に韓国ピョンチャン(平昌)で開催されたパラリンピックで選手団長を務められた大日方邦子様を講師にお迎えし『Beyond 2020～ユニバーサル社会を目指して～』と題してセミナーが行われました。

大日方様ご自身の身体的特徴のこと、幼い頃のご両親の教育が「前向きな生き方」に繋がったこと、パラスキーとの偶然の出会い等が紹介され、そして金メダルパラアスリートとしての経歴が動画等で紹介されました。また、平昌パラリンピックの裏話や選手団長の役割についてもお話しが及びました。

セミナーの後半では、平昌パラリンピック選手村の紹介があり、施設的に良かった点と残念だった点が紹介され、2020年東京パラリンピック成功のためには、100%の方が興味を持ち、実際に観戦することが重要だと話されました。

「障がいを持つことは個性」とのご自身のお考えが披露されたが、これは必ずしも、どの障がい者にも当てはまる訳ではないと強調されていました。ユニバーサルデザインやバリアフリーを考える際には、様々な障がい者の多様な意見を考慮する必要があると語られました。192人の参加者は、大日方邦子様の貴重なご経験を通じた示唆に富むお話しを聴くことが出来ました。

ホテル エミオン 東京ベイ 見学会 報告

6月8日、インテリア部会は、施設見学会「ホテルエミオン東京ベイ」を開催しました。スタートホテルのフラッグシップホテルですが、東京TDSオフィシャルホテルでもあり、修学旅行など大人数の旅行に特化したホテルの秘密を見せていただきました。1室で4~6人のお客様を迎える工夫には驚きました。お忙しい中、チャンスをいただいた、スタートホテル開発様、スタート総合研究所様、日本設計様ありがとうございました。

自動搬送機(Aiロボット)開発 ワーキンググループのキックオフ

Aiと観光施設サブリーター 岡山信男

技術委員会の新生分科会 ホテル&リゾート分科会の研究テーマ「Aiと観光施設」について数回の会合を重ねて参りました。

人手不足に悩む旅館の生産性向上に資するための方策として厨房から食堂への料理の運搬、食堂から洗い場への食器の下げ、又玄関から客室への荷物の運搬などを普及しやすい価格の自動搬送機(Aiロボット)の開発が望まれています。

搬送機が活用されて、省人化、生産性向上、効率運営で地域の安定と、活性化、自然環境の保全に貢献して行きたいと考えています。

今後、よりソフト、ハード面での詳細な会合が必要と考え「Aiと観光施設」の専任メンバーと参加希望会員による「自動搬送(Aiロボット)の開発ワーキ

ンググループ」を組織化し進めてまいります。ワーキング、グループ参加希望会員は7月12日までに事務局姫井宛連絡願います。

第110回ゴルフ会結果報告と次回予告

春のゴルフ会が5月17日(木)に「高坂カントリークラブ 米山コース」にて開催されました。

当日は暑い日差しの中、6組で競技が行われました。皆さん難しいグリーンに苦戦しながらも、大激戦を制したのは、ゼンテリアの丹治様でした。

参加企業の皆様からの協賛のお陰で、表彰パーティーも大変盛り上がり、楽しい親睦の場となりました。

次回は11月15日(木)同じゴルフ場にて計画する予定です。多数の参加をお待ちしています。

♥編集後記♥

平成30年度通常総会が無事終了しました。同時に行われた関連行事も大盛況でしたが、特に今回のセミナーは、パラリンピックで長年ご活躍されておられる大日方邦子氏のお話がとても斬新で興味深い内容でした。その中でご自身の障がい者としてのお立場でご覧になられたこれまでの国内の施設やその対応について幾つかご指摘がありましたが、これから高齢化社会を迎える我が国にとって大いに通じる課題でもあり、大変参考になるお話であったと思います。

観光施設の在り方を担う私たちの業務の中で、これらの課題を皆様と共に積極的に取り上げて参りたいと思います。

Y. K